

第4回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和4年6月23日（木曜）		午前 9時30分 開会	
	休 憩 9:44-46 10:18-19			
			午前10時36分 閉会	
	休憩時間：0時間3分		会議時間：1時間33分	
会議場所	3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委員	正村紀美子
	副委員長	黒田 栄継	委員	堀切 忠
	委員	常通 直人	委員	橋本 和仁
	委員	西尾 一則		
	委員	柴田 正博		
説 明 員	健康福祉課長	大野 邦彦	公立芽室病院事務長	西科 純
	保健推進係長	吉川 泰子	公立芽室病院参事	江崎 健一
	保健推進係主査	竹内 名恵	総務係長	佐藤 文彦
	保健推進係主査	中元 麻実	医事係長	多田 敬介
			経営企画係長	杉本 康次
			経営企画係主査	吉田かおり
参考人				
欠席委員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田 瑞紀		
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会				
・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件				
(1) 調査事項				
ア 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について 資料1				
・健康福祉課長：資料説明<令和4年度第1回厚生文教常任委員会（令和4年5月12日）以降、主な変更事項の説明（資料中朱書箇所）。4回目追加接種の予定、全体の接種状況（6月20日現在）>。				
・委員長：意見・質疑はないか？				
・橋本委員：4回目の接種に係る医療従事者の扱いは？				
・課長：3回目接種以降、医療従事者は優先接種の対象にはなっていない。				
・橋本委員：町として、公立病院等に勤務する医療従事者に対する特例の考えは？				
・課長：法令（法定受託事務）に基づく業務のため、町独自の運用を行う考えは現時点ではない。				

- ・黒田委員：4回目の接種の狙いは「重症化予防」と理解している。基礎疾患はないものの重症化予防を希望する町民への対応は？
- ・課長：それぞれの申請に基づくものであり、ケースに応じて対応していく。
- ・黒田委員：申請に基づき、医師の判断で接種となる理解で良いか。
- ・課長：予防接種法に基づく行為のため、接種希望の意思を大前提に接種するものではなく、医師の判断（問診）で接種するか否かを確定させる流れである。
- ・常通委員：9月末日までを期限とした接種スケジュールだが、その後の見込みは？
- ・課長：現時点で把握している情報は、これ以外に存在しない。
- ・橋本委員：重篤な後遺症の症例は？
- ・課長：国に報告するような重篤な事案は、町内では発生していない。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 令和3年度公立芽室病院の決算状況について 資料2

- ・委員長：担当課の説明を求める。
- ・事務長：2年連続の黒字決算の旨を説明。
- ・総務係長：R2対比の概要説明（正職員及び会計年度任用職員の給与比較、新型コロナウイルス感染症関連補助金、資金不足比率及び平成20年度以降の年度別収益的収支、資本的収支状況等）
- ・医事係長：診療科別前年対比を説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・正村委員：コロナが収束に向かうことで、コロナ病床の減少等が想定される。今後の経営への影響に係る見通しは？
- ・事務長：コロナ関連の補助金は、本年9月までは見通しが確定している。その後は、国の感染状況と政治の動きを鑑みて、総合的に、かつ、短期的・中長期的視点の両面で、当院への影響を見定めていかなければならないと考えている。
- ・正村委員：今後の設備投資の予定は？
- ・事務長：老朽化している施設につき、ハードの修繕が必須。先般の研修では、院内環境が「暗い」、「臭い」等の厳しい指摘があった。患者様の視点に立って、敏感に環境の是非を見定めて改善に努めるべきと考えている。また、人材への投資及び職員構成・配置も必須と捉えている。
- ・正村委員：累積欠損と減価償却との関係は？
- ・参事：累積欠損金はこれまでの収益的収支の決算額を積み上げたものである。累積欠損金は平成26年度の公営企業会計の制度改正により大きく減少したが、その後赤字が続き、欠損金が上昇したが2年続けての黒字により5億円まで減少した。
関係性から言うと減価償却費は、収益的収支の経費の一部であり、累積欠損金にも少なからず影響を与えているものである。減価償却費は現金の支出を伴わない経費であることから、手持ち現金に影響を及ぼさないものである。
- ・委員長：他にないか？

- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 6月定例会議の振り返りについて 資料3

- ・委員長：6月定例会議が昨日閉会した。振り返りについて、確認したい。
- ・常通委員：「自らが所属する委員会に関する振り返り」について、申し上げる。渡辺委員長と正村委員から一般質問があった。今後、この一般質問の結果を踏まえて継続調査をしていきたい。
- ・黒田委員：常通委員と同様である。一般質問の内容は、今年度の委員会抽出事業であり、今後、一般質問の答弁を踏まえて継続調査すべきと考える。
- ・正村委員：昨日の合同委員会における総合計画後期実施計画の調査においても、今後、委員会として調査を深めるべき課題や事項も浮かび上がってきている。6月定例会議の振り返りに加えて、合同委員会でのやり取りも調査の根拠として、取り組んでいくべきと考える。
- ・委員長：各会議等の会議録も改めて確認するなどし、委員会として追跡調査するまとめで良いか？
- ・(異議なし)
- ・正村委員：他の委員会に係る調査について、意見する。嵐山の経営については、調査を継続すべきと考える。決算状況を踏まえて財政再建に向けた調査を期待するとともに、合同委員会の開催も念頭に調査すべき事項と考える。
- ・委員長：ただ今の意見を、委員会の意見としてまとめて良いか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：議会運営全般に関する振り返りはあるか？
- ・(意見なし)
- ・委員長：「その他」でないか？
- ・常通委員：6月定例会議終了後に開催された合同委員会で示された総合計画の後期計画では、厚生文教常任委員会所管事務のうち、朱書が多い分野（教育）があった。改めて、調査をすべきと考えるがいかがか？
- ・黒田委員：前回（2月）の合同委員会で議論した経過に基づき、今回の町からの説明と捉える。踏査というより確認作業として、よりよい総合計画となるために関わることは必要と考える。
- ・常通委員：ただ今の意見については、「振り返り」に明記せずに、正副委員長の委員会運営方法としてのまとめとしたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定する。

- ・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ア」について、いかがか？
- ・常通委員：これまで同様、月に1度定期的な調査で是と考える。
- ・委員長：異議ないか？
- ・(異議なし)

・委員長：決定する。

・委員長：調査事項「イ」について、いかがか？

・常通委員：四半期及び改革プラン等の調査を継続していくこととしたい。

・委員長：異議ないか？

・(異議なし)

・委員長：決定する。以上で自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

・委員長：正副一任とする。

(2) その他

・委員長：各委員からないか？

・(なし)

・委員長：議長からないか？

・(なし)

・委員長：事務局からないか？

・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年6月23日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎